

社会的包摂にむけた 福祉教育の推進

1 趣旨

近年、生活困窮・社会的孤立の問題を背景とする深刻な地域での生活課題が広がるなか、個別の課題解決にむけた取り組みとともに、「誰も排除しない、誰もが地域と関わりを持ち、社会参加ができるような地域づくり」が併せて求められています。

全社協では、社会的包摂にむけた福祉教育のあり方研究会において、平成 26 年度に「社会的包摂にむけた福祉教育～実践にむけた福祉教育のプログラムの提案～」を作成し、同 3 月には京都府社会福祉協議会にて福祉教育プログラムの試行実施をいたしました。

本年度は、各プログラムのモデル研修を実施して、プログラムの精査や課題の整理を行いながら社会的包摂にむけた福祉教育プログラムの普及・啓発を図っていきます。

本セミナーでは、「社会的包摂にむけた福祉教育」をより実践的に理解するために、地域で展開している実践事例などにもふれながら、社会的包摂にむけた福祉教育について考えていきます。

2 期日：平成 27 年 8 月 3 日（月）～4 日（火）（3 日 13:30～開会、4 日 12:00 閉会）

3 主催：社会福祉法人 全国社会福祉協議会
共催：日本福祉教育・ボランティア学習学会（予定）

4 後援：厚生労働省、文部科学省（予定）

5 会場：全国社会福祉協議会 5 階会議室
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL 03-3581-4656（全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター）

6 対象：

- 福祉教育推進・支援者（社協職員、福祉施設職員、民生委員・児童委員、NPO、学習サポーター、地域福祉関係者など）
- 学校・教育関係者（教育委員会職員、教育行政関係者、特別支援学級等教職員、学校役職員 など）
- 日本福祉教育・ボランティア学習学会会員、大学生、院生、その他参加を希望する者

7 定員：120 名

8 参加申込期限：7 月 23 日（木）まで ※定員に達するまで参加申込を受付します。

9 参加費：セミナー参加費 5,000 円 情報交換会 1,000 円

■第1日目 8月3日(月)	
13:00～13:30	受付(会場:全社協 第3～5会議室)
13:30～14:00	<p>■開会(会場:全社協 第3～5会議室)</p> <p>■あいさつ・説明/地域福祉をめぐる状況と福祉教育 全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター 所長 佐甲 学</p>
14:00～15:30	<p>■基調講演 (会場:全社協 第3～5会議室)</p> <p style="text-align: center;">「福祉教育の新潮流—社会的包摂を見すえた地域での展開—」</p> <p style="text-align: center;">講師 原田 正樹 氏(日本福祉大学 教授)/ 日本福祉教育・ボランティア学習学会 理事)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>福祉教育は「社会的排除」や「社会的孤立」といった問題をきちんと正面から取りあげてきたでしょうか。さまざまな地域課題が深刻化している今、地域基盤の再生なくしてその解決は図れません。</p> <p>こうした問題へのアプローチに福祉教育の実践が極めて有効であることを確認しつつ、新しい福祉教育プログラムの可能性について参加者とともに考えます。</p> </div>
15:30～15:40	休憩
15:40～17:40	<p>■シンポジウム (会場:全社協 第3～5会議室)</p> <p style="text-align: center;">「社会的包摂に向けて福祉教育を推進するための社協の取組み」</p> <p>コーディネーター 原田 正樹氏(日本福祉大学 教授)</p> <p>シンポジスト 浅尾 和弘氏(大阪府寝屋川市社会福祉協議会 地域福祉課) シンポジスト 丸山 真利奈氏(愛媛県八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>社会的包摂に向けて福祉教育を推進していくためには、地域の特性に応じた実践が大事です。地域住民に対しての働きかけや合意形成の過程、そのなかで学びをどう創り上げていくかが重要です。</p> <p>そこで、具体的な各地の取組みについて共有するとともに、社会的包摂に向けた福祉教育実践の現状や課題を事例を通して学びあいます。</p> </div>
17:40～18:40	■情報交換会(会場:全社協・第1～2会議室)

■第2日目 8月4日(火)	
9:00～12:00	<p>■ 分科会</p> <p>第 1 分科会「最前線の課題に取り組む中での福祉教育の可能性」 (会場：全社協 5 階会議室)</p> <p>ファシリテーター 室田 信一氏(首都大学東京 准教授)</p> <p>事例① 新田 祐輔氏(東京都動物愛護相談センター)</p> <p>事例② 伊谷 陽祐氏(サイバー防犯ボランティア活動の実践研究会)</p> <p>今注目されている社会問題に向き合い、課題解決につなげていける事例を通じて、福祉教育の視点を意識することで新たな可能性を探ります。</p>
	<p>第 2 分科会「防災と福祉教育」 (会場：全社協 5 階会議室)</p> <p>ファシリテーター 栗原 英文氏(Community Empowerment Office FEEL Do 代表)</p> <p>事例① 岡本 圭一郎氏(角田市社会福祉協議会 地域福祉係長) 菅原 清香氏(一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン 福祉・防災学習コーディネーター)</p> <p>事例② 神田 勇氏(武豊町総務部防災交通課 主査)</p> <p>年々増加する災害に備え、今私たちができることは何か。防災における福祉教育の役割について具体的な事例をもとに考えます。</p>
平成 27 年度福祉教育推進セミナーのプログラムは以上です。	
平成 27 年度 都道府県・指定都市社会福祉協議会 福祉教育担当者連絡会議	
12:30～13:00	受付(会場：全社協 第3・4・5 会議室)
13:00～15:30	<p>■対象：都道府県・指定都市社協福祉担当職員</p> <p>■定員：50 名</p> <p>■目的：都道府県・指定都市社協における福祉教育の実践、市区町村社協への支援のあり様について、福祉教育担当者間での情報交換を行う</p> <p>※福祉教育推進セミナーから引き続き本会議にご参加の方には、昼食(お弁当)をご用意しております。</p>

□分科会について

会場の都合により、分科会ごとにご参加いただける人数の制限がありますので、申込書には必ず、第一希望の分科会をご記入ください。申し込み状況によっては、第一希望でない分科会に振り分けさせていただく場合があることをあらかじめご了承ください。なお、その場合は、開催 1 週間前までにご通知します。

□内容に関する問合せ先：

<p>内容に関する問合せ先</p> <p>全国社会福祉協議会・全国ボランティア・市民活動振興センター(担当 大場)</p> <p>〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル</p> <p>電話：03-3581-4656 FAX：03-3581-7858 eメール：vc00000@shakyo.or.jp</p> <p>http://www.zcwvc.net/(本要綱・申込書のダウンロードもできます)</p>

□参加申込先方法、申込等に関する問合せ先：

別添「参加・宿泊・情報交換会のご案内」をご参照のうえ、所定の申込用紙に必要事項をご記入いただき、名鉄観光サービス㈱に郵送または FAX にて送付ください。宿泊等の手配がない場合も申込書は同一様式ですので、必ず名鉄観光サービスに申込書を送付してください。開催 1 週間前までに参加券等が到着しなかった場合には名鉄観光サービスにお問い合わせください。

ウェブサイト(<http://www.zcwvc.net/>)からも開催要綱・申込書をダウンロードできます。また、Email による開催要綱・申込書の請求も可能です (vc00000@shakyo.or.jp)。ただし、いずれの場合も申込書は名鉄観光サービス㈱に郵送あるいは FAX にて送付してください。

参加申込方法・申込等に関する問合せ先

名鉄観光サービス㈱ 新霞が関支店【担当：波多野・山辺】
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルL B階
電話：03-3595-1121 FAX：03-3595-1119
受付時間 平日 9:30～17:30 土日祝祭日休業

□個人情報について

申込書等に記載された個人情報については、本セミナーの運営目的にのみ使用します。セミナー資料にはお名前、所属先、役職名の一覧表（名簿）を掲載いたします。

なお、事務取扱を委託する名鉄観光サービス㈱と全国社会福祉協議会は個人情報の取り扱いにかかわる覚書をかかわっています。

□会場案内



- ・地下鉄銀座線「虎ノ門駅」 5 番出口より徒歩 5 分
- ・地下鉄千代田線／丸の内線／日比谷線 「霞ヶ関駅」 A13 番出口より徒歩 8 分